

カラス対策に黄色いごみ袋を使ってみませんか？

20年7月に、およそ650世帯の方にモニターとして杉並区推奨「黄色いごみ袋」を1ヶ月間使用していただき、集積所の状況の変化や、カラス対策の効果について、ご意見や感想をお寄せいただきました。

その結果、50%の方が「カラス対策に効果がある」、75%以上の方が「今後も使用したい」と回答されました。

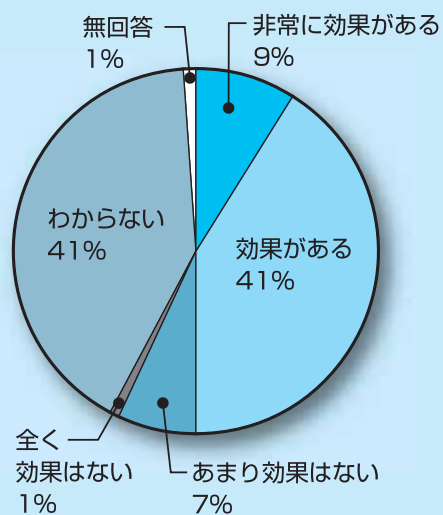
また、「ごみの出し方のマナーを守ることが最も有効なカラス対策になる」というご意見も多数頂きました。

今後ちょっとした心遣いと工夫で、まちの美観向上にご協力をお願いします。

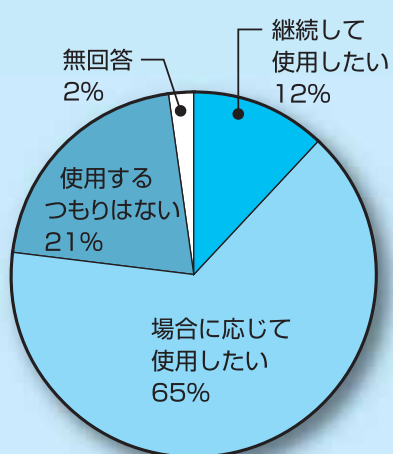
参加して下さったモニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

問 清掃管理課清掃計画係

■黄色いごみ袋はカラス対策に効果があると思いますか？



■今後も黄色いごみ袋を使用したいですか？



ごみ減量へのワンポイント!

雑がみの
分別編

資源への分別を徹底するだけで、ごみ量を減らすことができます。

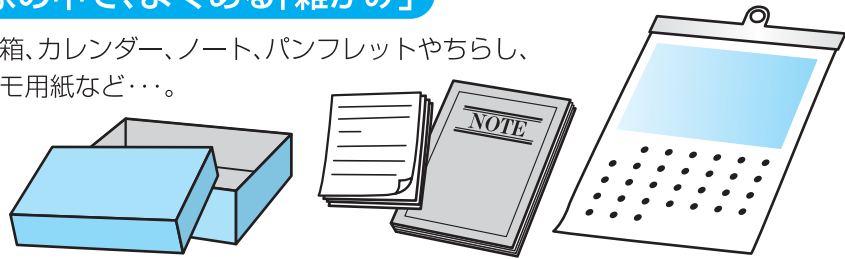
「これって資源(古紙)だったの?」という声が聞かれる「雑がみ」の分別について紹介します。

「雑がみ」は、分別して「古紙の回収日」に出してください。また、大きさが不規則な雑がみは、紙袋や紙箱を利用して分別すると便利です。

問 清掃管理課清掃計画係
清掃管理課リサイクル推進係

家の中で、よくある「雑がみ」

紙箱、カレンダー、ノート、パンフレットやちらし、メモ用紙など…。



こんなものも雑がみです

使い終わったラップは、箱も芯も雑がみに分別。ラップの金属製の刃だけが不燃ごみ。トイレットペーパーの芯も雑がみです。

商品を包んでいる紙箱(お菓子やカレールーやティッシュの箱など)は、雑がみに分別。多くの商品が紙箱に入って販売されています。

洋服などを買った時の包み紙、台紙、値札も雑がみに分別。

学校等からの“おたより”も、不用になったら雑がみです。

新聞・雑誌・段ボール・紙パックも資源(古紙)への分別をお願いします。



マイバックコンテスト 入賞作品が決まりました

10月18日(土)、19日(日)の「環境博覧会すぎなみ2008」において、マイバックコンテストを行いました。応募いただいた小中学生の部28点、一般の部12点の作品を展示し、来場者による投票の結果、下記の名の方々表彰されました。

たくさんのご応募とご投票をいただき、ありがとうございました。

問 清掃管理課ごみ減量推進係

小・中学生の部

★最優秀賞

高森 大樹さん



日本地図のエコバッグです。糸を縫う時が大変でした。

★優秀賞

井上 康太さん



機能性を考えたバッグです。広げるとふろしきとして使え、たたむとバッグとして使えます。

★優秀賞

斯波 リリエさん



特に力を入れたところは、ミシンをていねいにかけたところです。

一般の部

★最優秀賞

政岡 尚子さん



使用できなくなった、黒いごみ袋を切って製作しました。ポケットは、合計六個付けました。

★優秀賞

高崎 敬子さん



家にあった布で作ってみました。ポケットの部分は、同じ布が足りなくなってしまい、継ぎたしです。

★優秀賞

野口 雅津子さん



お稽古の荷物を入れるバッグを作りたくて、人形の刺繍の生地をみつけて、ポケットとしてつけました。